

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					6003	ユニバーサルデザイン推進事業				市民部	市民・NPO活動推進課
1 事業概要		中事業番号		119								所属コード	150300
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.2 11.7 17.17	○	4-1	○	○		○			ユニバーサルデザイン普及啓発委託事業、UDサポーターの運営、講座・イベント等での普及啓発、人材育成を行う。	こおりやまユニバーサルデザイン推進指針の基本目標である、いのちと人権を尊重するとともに、やさしさを感じる公共空間の形成と、市民一人ひとりの思いやりの気持ちにより支えられる心のUD社会を実現する。	
施策	2誰もが安心して快適に暮らせるまち												

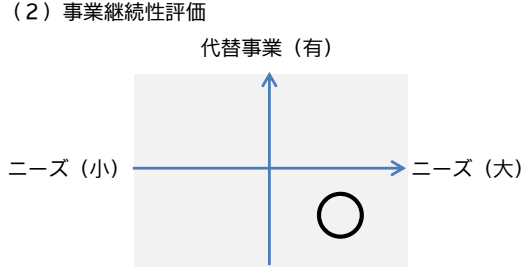
事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
平成20年4月にスタートした第五次総合計画において重要な施策のひとつとして位置づけ、その推進のため、平成21年3月にこおりやまユニバーサルデザイン推進指針を策定した。	ユニバーサルデザインは、全ての人を対象としているが、65才以上の高齢者数（前年比+541人、2024年10月現在）、障害者手帳（身体・精神）及び療育手帳所持件数（前年比+41件、2024年3月末現在）、在住外国人数（前年比+407人、2025年3月末現在）は増加している。	団塊の世代が後期高齢者層に達し（2025年問題）、今後も人口に占める高齢者の割合が急速に増加していく。一方で、生産年齢人口は減少していくことから支える側と支えられる側の均衡を保つことが困難になっていく。 また、在住外国人の増加により、言語・文化の違いから生じる地域住民との関係性が新たな課題となる。	2024年度市民意見リーダーにおいて、ユニバーサルデザインのまちづくりについてアンケート調査を実施したところ「障がいを持った方が、他の健常者と同じように喜びや楽しみを感じられることが大切」、「高齢者や子供達により住みやすく暮らしやすい生活環境のさらなる充実」などの意見があった。引き続き、施設整備などのハード面、情報提供などのソフト面、思いやりの心を育てるハート面の事業を求められている。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	ユニバーサルデザイン出前講座の参加人数	人	470	507	480	495	500	633	500		500		500	500		
活動指標②	出前講座等啓発回数	回	16	17	16	19	16	23	16		16		16	16		
活動指標③																
成果指標①	市民意識調査におけるユニバーサルデザインの満足度	点	70.0	67.5	70.0	67.4	70.0	67.6	70.0		70.0		70.0	70.0	70.0	70.0
成果指標②	ユニバーサルデザインの理解度（出前講座のアンケートによる）	%	90	98	90	99	90	98	98		98		98	98	98	98
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	ユニバーサルデザインの満足度1点あたりのコスト	千円		108		115		129	178		178		178	178		
単位コスト（所要一般財源から算出）	ユニバーサルデザインの満足度1点あたりのコスト	千円		108		115		129	178		178		178	178		
事業費		千円		639		498		434	814		814		814	814		
人件費		千円		6,638		7,242		8,254	11,636		11,636		11,636	11,636		
歳出計（総事業費）		千円		7,277		7,740		8,688	12,450		12,450		12,450	12,450		
国・県支出金		千円							0		0					
市債		千円							0		0					
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円							0		0					
その他		千円							0		0					
一般財源等		千円		7,277		7,740		8,688	12,450		12,450		12,450	12,450		
歳入計		千円		7,277		7,740		8,688	12,450		12,450		12,450	12,450		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
2023年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、コロナ禍以前と同様に事業が実施できるようになり、出前講座の参加人数は目標値を大きく上回った。また、イベント開催によりブース出展の機会も確保し、啓発回数が計画値を上回った。	市民意識調査におけるUDの満足度は、昨年度と比較し、ほぼ横ばいであるが、目標値は下回っている。主に小、中学校からの依頼により実施している出前講座受講アンケートのUDの理解度は98％と非常に高かった。	【事業費】 昨年度に引き続き、UDを実践できる人材育成のための事業の見直しを行い、委託料が減少したことから、事業費は64千円の減となった。 【人件費】 2026年度からの第三次こおりやましユニバーサルデザイン推進指針の制定に向けた協議会の開催回数やアンケートを実施したため、1,012千円の増となった。

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		4	
5 成果指標（目的達成度）		4	



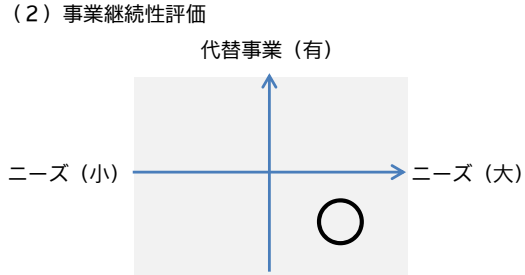
継続	一次評価コメント
	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、以前と同様の規模で事業を実施することができたことから、UDについて広く啓発することができた。また、ユニバーサルデザインの出前講座受講者アンケートの結果、ユニバーサルデザインの理解度が非常に高いものであったため、今後も引き続き質の高い啓発事業を展開し、市民のユニバーサルデザインの意識醸成を図っていく。 今後もユニバーサルデザイン社会実現のため、ハート、ハード、ソフトの三面に対し、市民、市民活動団体、事業者及び行政が協働で取り組んでいく。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
	○		○		○

気候変動対応	D X（デジタル市役所）	部局間協奏
○	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		3	
2 公平性		4	
3 効率性		3	
4 活動指標（活動達成度）		4	
5 成果指標（目的達成度）		4	



継続	二次評価コメント
	令和6年度は、出前講座の啓発活動が計画値より7回増加した。また、体験型のユニバーサルデザイン出前講座の参加人数が前年度と比較して138人増加し、小・中学校だけでなく企業団体からの講座開催要望もあった。毎年継続的に要望があることから、ユニバーサルデザインに対する市民の関心と参加意欲が高まっていることが示されている。 ユニバーサルデザインを通じ、子どもや高齢者、障がい者等、多くの人々が安心して日常生活を過ごせる社会の形成を推進するため、継続して事業を実施する。 なお、人件費が上昇傾向にあることから事業の効率化に向けた取組みを工夫する必要がある。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画